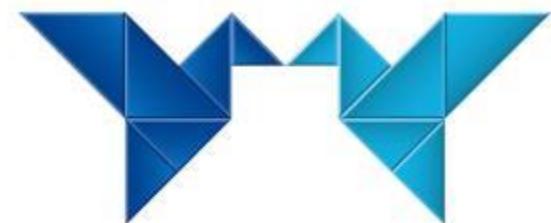


2013年11月25日

# 個人投資家向け会社説明会

## 代表取締役社長 秋沢英海

ワイン・パートナーズ株式会社  
WIN-Partners Co., Ltd.



**WIN PARTNERS**  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

証券コード:3183



<b>1 会社概要</b>	.....	<b>3</b>
<b>基本方針</b>	.....	<b>6</b>
<b>事業概要</b>	.....	<b>7</b>
<b>差別化戦略</b>	.....	<b>17</b>
<b>今後の成長戦略</b>	.....	<b>18</b>
<b>2 2014年3月期 第2四半期 決算概要</b>	.....	<b>19</b>
<b>連結損益計算書</b>	.....	<b>21</b>
<b>決算のポイント</b>	.....	<b>22</b>
<b>セグメント別概況</b>	.....	<b>24</b>
<b>連結貸借対照表</b>	.....	<b>35</b>
<b>3 2014年3月期 業績予想</b>	.....	<b>36</b>
<b>業績予想のポイント</b>	.....	<b>38</b>
<b>配当方針</b>	.....	<b>39</b>
<b>下期のトピック</b>	.....	<b>40</b>

# 1. 会社概要

---

2013年4月1日  
医療機器商社、ワイン・インターナショナルとテスコが経営統合  
持株会社ワイン・パートナーズ発足



WIN INTERNATIONAL



テスコ  
TECHNICAL SERVICE CORPORATION

1983年

創業

1973年

医療機器販売

主な事業内容

医療機器販売

首都圏

主要地域

宮城県、福島県

証券コード：3183 JASDAQ(スタンダード)

本社：東京都台東区台東四丁目24番8号

資本金：5億5千万円

事業内容：医療機器販売等を行うグループ企業の経営管理

代表者及び役員構成：  
代表取締役社長 秋沢 英海  
他、取締役 4名(うち、社外取締役 1名)  
監査役3名(うち、社外監査役 2名)

100%連結子会社：(株)ワイン・インターナショナル、テスコ(株)

グループ従業員数：361名 (2013年9月30日現在)

発行済株式数：15,251,655株 (自己株式:897,433株を含む)

## 企業理念

すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、  
豊かな社会の実現に貢献します。

## 企業ビジョン

新しいニーズを創造し、次世代医療関連ビジネスの  
リーディングカンパニーを目指します。

当社グループは、当社及び連結子会社2社からスタートします。  
当社の理念に共感いただける企業を今後もパートナーとして迎え入れ、  
企業価値の拡大を図ります。

- 循環器系の低侵襲治療分野に特化した医療機器商社グループ

- ⇒ 身体的負担の少ない低侵襲治療の普及を黎明期より推進
- ⇒ 顧客は国内有力医療施設
- ⇒ 独立系：各症例にあった最適な医療機器を医師に提案

- 心臓カテーテルでトップシェア



# 低侵襲とは

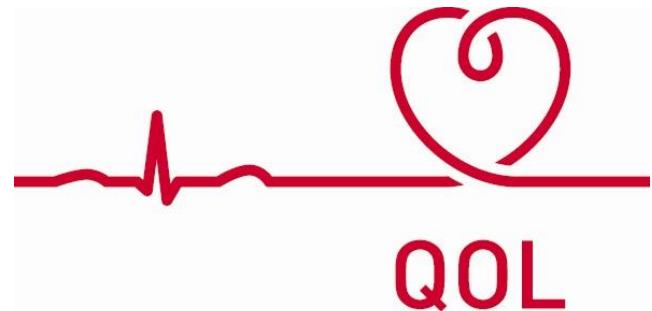
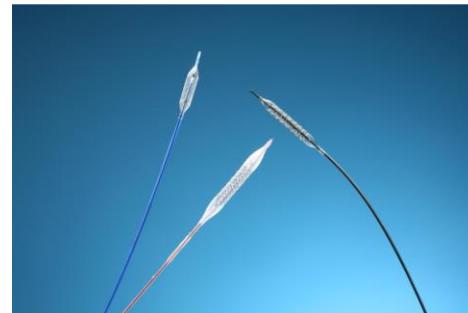
## 低侵襲とは

検査や治療において、身体への侵襲、つまり

**身体的負担(熱・出血・苦痛)をできるだけ少なくすること。**

患者様の**生活の質(QOL=Quality of life)**を向上させることが可能で、

このような治療法が増えてきております。



WINはQOL推進企業です

# 低侵襲治療の効果～入院期間の短縮

平均在院日数の比較

(日)

バイパス手術

PCI

40

30

20

10

0

34.1

17.5

29.1

6.2

急性心筋梗塞

狭心症



出典:厚生労働省 平成24年度第5回診療報酬調査専門組織・DPC  
評価分科会議事次第に基づき当社作成

## 低侵襲治療、心臓治療の医療機器が主軸

### 主力分野

虚血性心疾患関連  
(PCI)



PTCA  
バルーンカテーテル  
¥79,100



DES  
(薬剤溶出型ステント)  
¥295,000

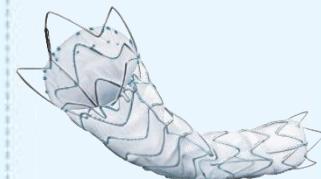
心臓律動管理関連  
(CRS)



CRTD  
(両室ペーシング機能  
付き植込型除細動器)  
¥4,090,000

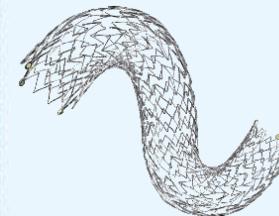
### 注力分野

心臓血管外科関連  
(CVS)



ステントグラフト  
(腹部)  
¥1,520,000

末梢血管疾患関連  
(PPI)



末梢血管用ステント  
¥210,000

糖尿病関連  
(DMS)



インスリンポンプ  
(レンタル・販売)

### 大型医療機器



MR I

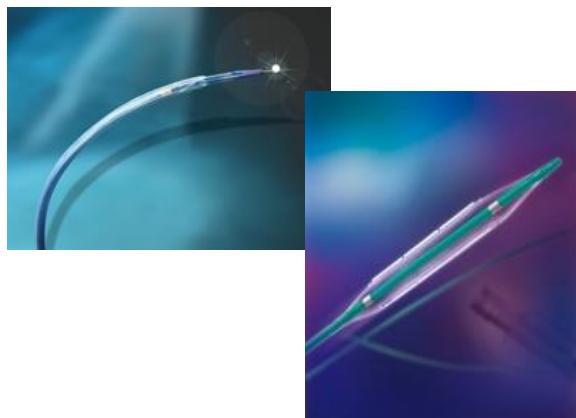
数千万～数億円

特定保険医療材料：国が価格を決定（公定価格）、2年に1度価格の見直し

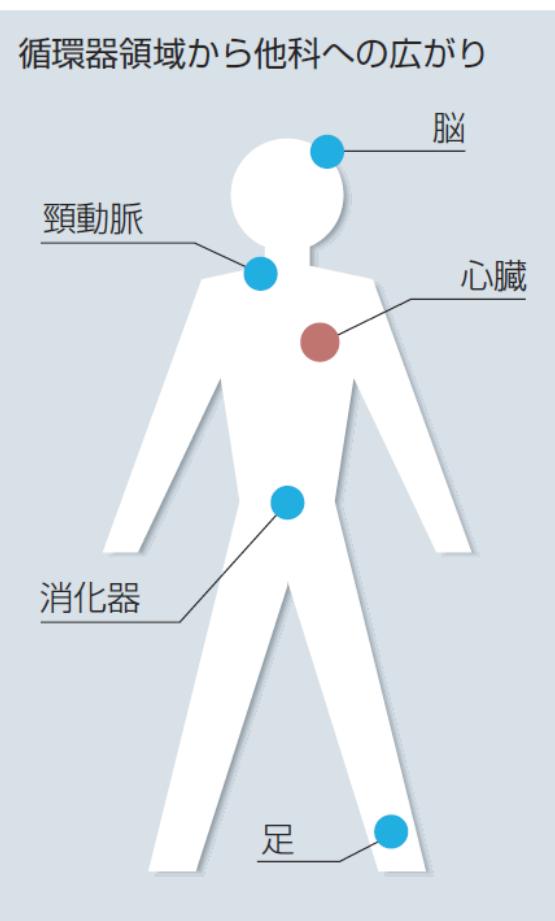
# “低侵襲治療”を心臓以外へ拡大

## 下肢・頭頸部・腹部領域

PTAバルーンカテーテル  
・マイクロカテーテル



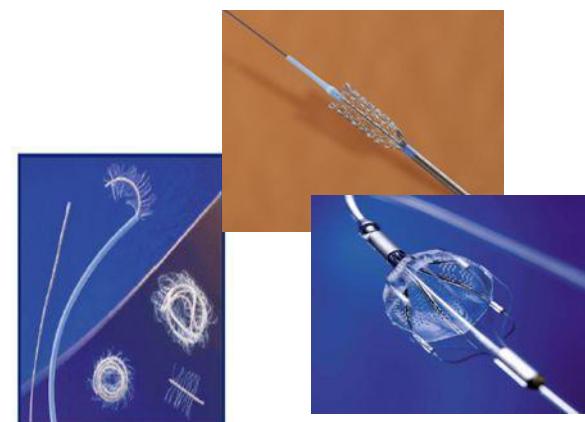
© 2005 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.



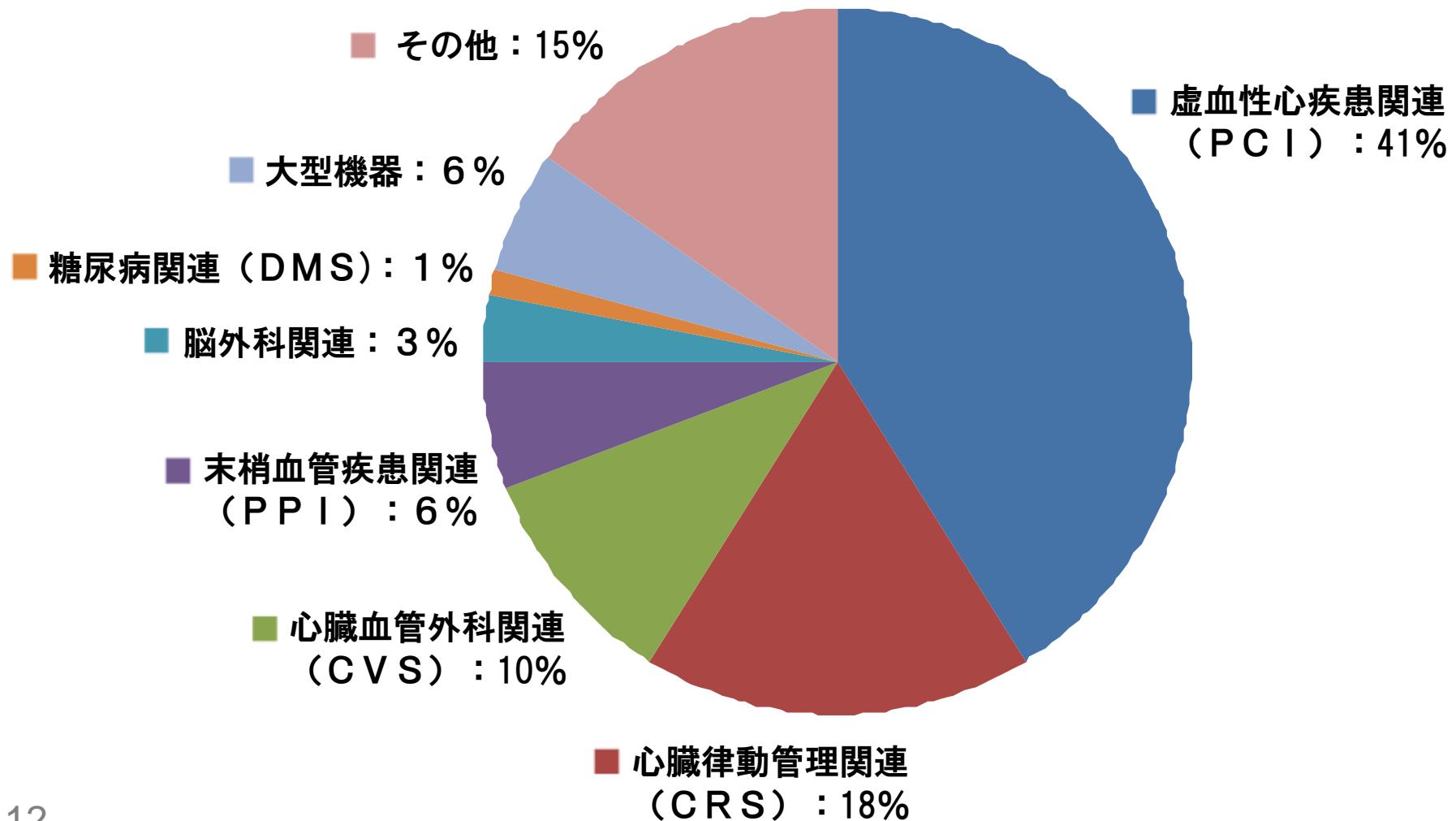
RFAジェネレータ・ハンドピース



塞栓用コイル・  
CAS (頸動脈用ステント)

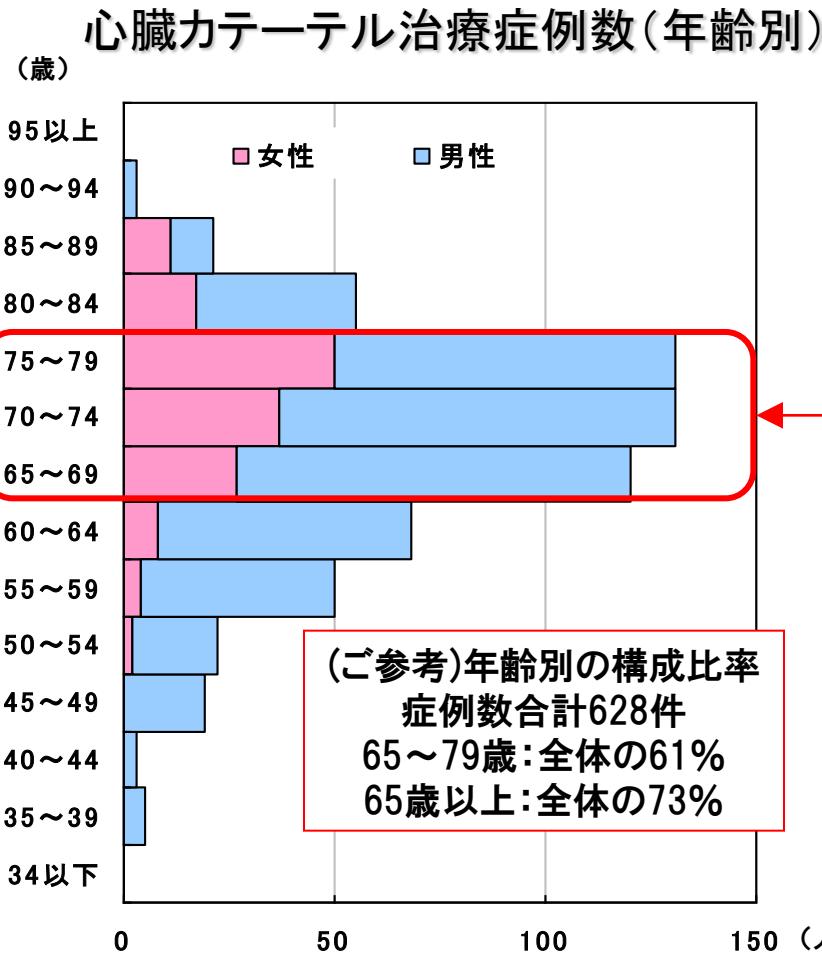


## 第2四半期連結売上構成比



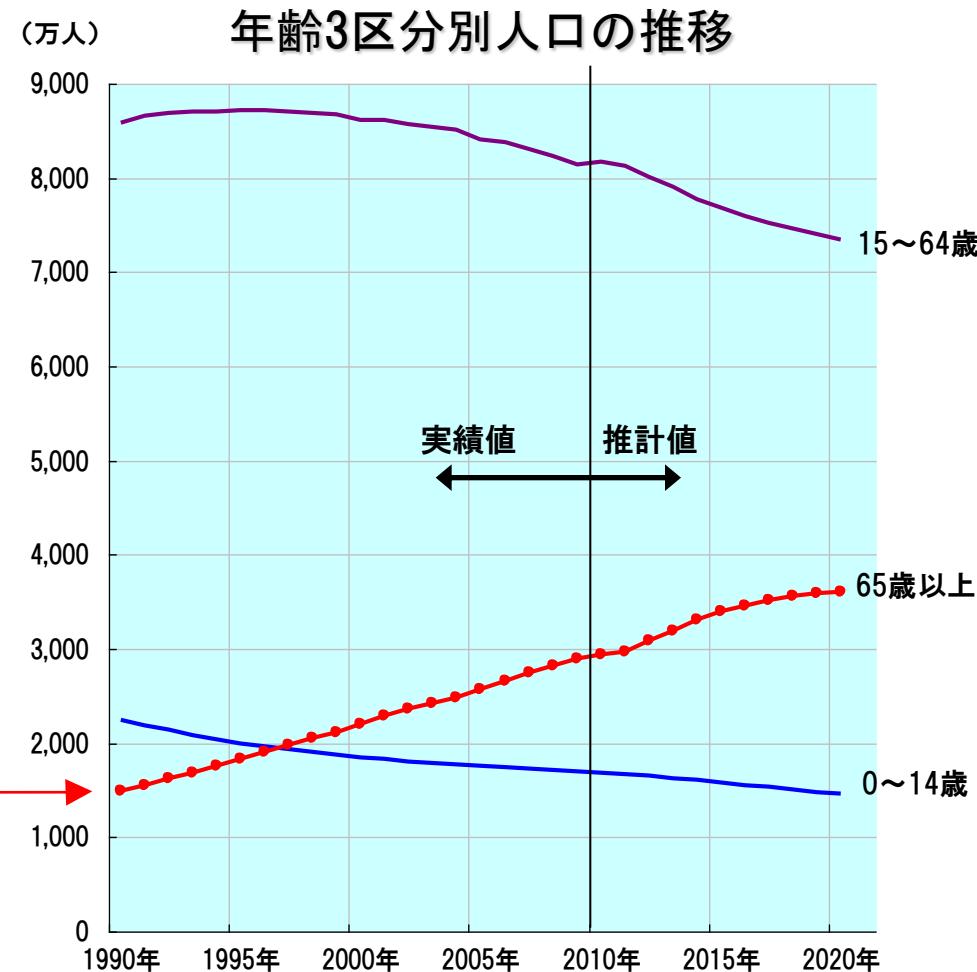
# PCI市場～高齢化が追い風

## ① PCIの中心患者は65歳～79歳



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

## ② 中心患者(65歳～79歳)人口が増加



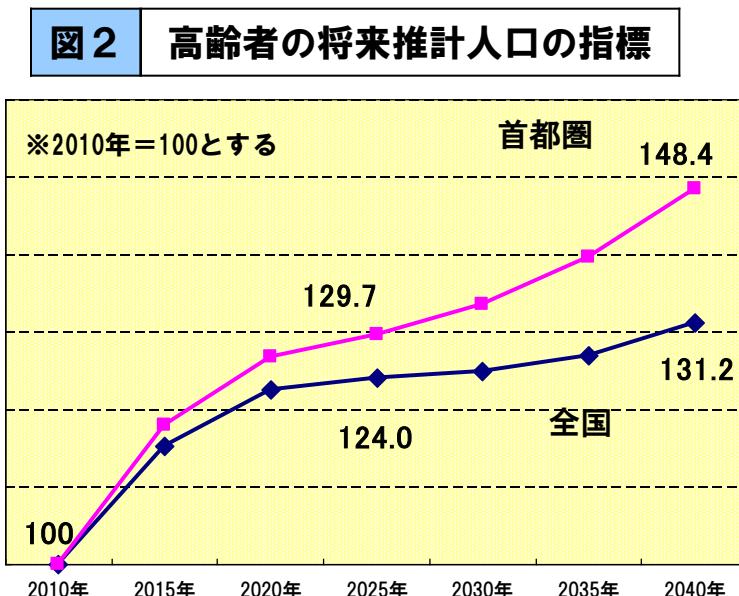
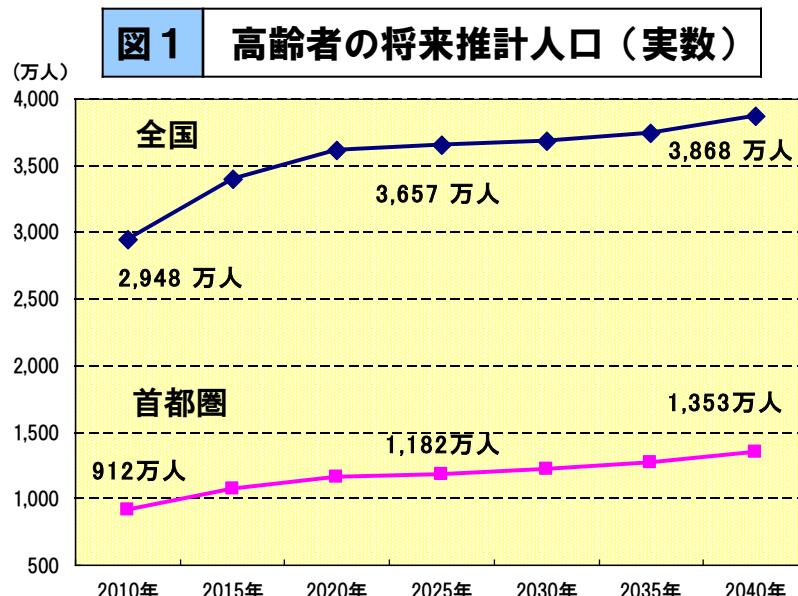
(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)

## 高齢者人口が急激に増加する首都圏

### ■2025年までの高齢者人口の動向

【首都圏の高齢者人口】《2010 年》912万人 → 《2025年》1,182 万人…約270万人増加（図1）。

【高齢者人口増加率】 指標:2010年を100 → 2025年《全国》124.0 < 《首都圏》129.7（図2）。



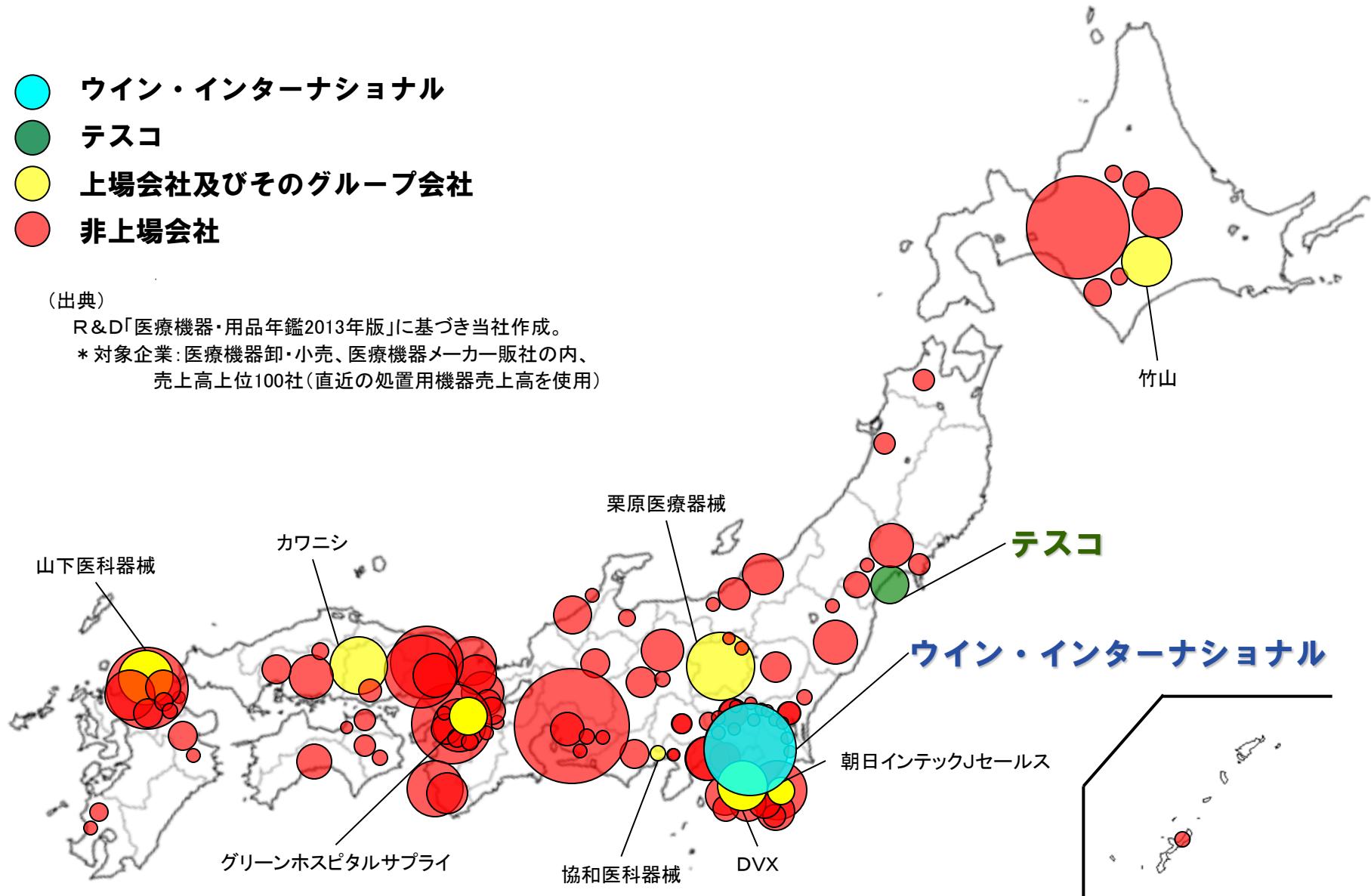
（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）

# 医療機器卸業界マップ(治療用医療機器売上規模)

- ウイン・インターナショナル
- テスコ
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R&D「医療機器・用品年鑑2013年版」に基づき当社作成。  
\* 対象企業: 医療機器卸・小売、医療機器メーカー販社の内、  
売上高上位100社(直近の処置用機器売上高を使用)



# 営業拠点ネットワーク

- ウイン・インターナショナル営業所
- ウイン・インターナショナル出張所
- ★ テスコ営業拠点



## ① 病院経営の視点からの提案

医療機関の3極(医師・経営陣・管理部門)  
に対する総合提案力  
それぞれのニーズに沿った提案  
(人材補強 / 設備投資 / 集患施策)

成長性

収益性

業界再編をリードする  
医療商社グループ

## ② 専門性

- ・高度な商品知識、サービスの提供
- ・医療施設の高度医療化をサポート
- ・医療機器メーカーへの提案

## ③ 集中戦略

- ・顧客:有力医療施設
- ・製品:低侵襲治療分野の高付加価値製品
- ・エリア:首都圏、東北、他主要都市

# 今後の成長戦略

現在

将来

## 既存領域の深耕

### 循環器領域における成長

- ・新製品、高付加価値製品の提供
- ・新しい治療法の普及

### 低侵襲治療領域の拡大

- ・下肢、頭頸部、腹部への展開
- ・潜在患者の発掘

### 関連分野の拡大

- ・糖尿病関連事業の拡大
- ・合併症への対応、医療連携支援
- ・医療施設開業、運営支援

## 地域の拡大

### 東北地方の基盤確立、 全国体制の構築

- ・地域の有力医療施設など新規顧客の獲得
- ・地域医療を担う企業との連合

## 事業領域の拡大

### 地理的拡大から事業領域の拡大へ

- ・医療機器卸の枠を超えた周辺事業の取り組み

### 人々のクオリティ・オブ・ライフを 高める医療ビジネスモデルの構築

M&A

グループ全体の効率化に取り組み、  
ROE 15%以上を目指す

## **2. 2014年3月期 第2四半期 決算概要**

---

# 2014年3月期 第2四半期実績



	2013年4-9月期		期初予想 (百万円)	2012年4-9月期 参考：2社合算 (百万円)
	金額 (百万円)	百分比 (%)		
売 上 高	22,230	100.0	21,654	19,370
営 業 利 益	1,051	4.7	1,003	892
経 常 利 益	1,059	4.8	1,009	—
四 半 期 純 利 益	1,021	4.6	862	—
1株当たり四半期純利益(円)	71.14	—	60.12	—
1株当たり純資産(円)	726.27	—	—	—

売上高、利益ともに期初予想を達成

# 連結損益計算書

	2013年4-9月期	
	金額(百万円)	百分比(%)
売上高	22,230	100.0
売上原価	19,226	86.5
売上総利益	3,003	13.5
販売管理費	1,952	8.8
営業利益	1,051	4.7
営業外収益	8	0.0
営業外費用	0	0.0
経常利益	1,059	4.8
特別利益	377	1.7
特別損失	0	0.0
税前利益	1,435	6.5
税金費用	414	1.9
四半期純利益	1,021	4.6

## 売上高 +14.8% (2社合算 前年同期比)

- 主要顧客施設において症例数が順調に増加
- CRS(心臓律動管理関連)、CVS(心臓血管外科関連)が予想を上回る
- 心臓以外の領域(末梢血管疾患関連、脳外科関連)も好調に推移
- 前期の人員増強、新設営業所の寄与(4.4%增收効果)

## 営業利益 +17.8% (2社合算 前年同期比)

- 販売数量増や一括買い取りによる仕入コストの低減
- MRI対応型ペースメーカー等、高付加価値製品の売上拡大
- 販売管理費は予定通りに推移

## 当期純利益 10億円

- 特別利益 377百万円
  - 経営統合に伴う負ののれん発生益 (197百万円)
  - テスコ株式の段階取得による差益 (180百万円)

- 重複する福島エリアの営業所の統合準備開始（2014年4月予定）
- グループ人材活用、効率的な人員配置の為、人事制度改革に着手
- 基幹システム統一の為の準備開始
- 顧客情報共有による新規顧客開拓強化

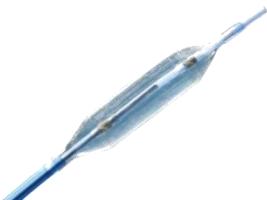
## 連結セグメント別売上高

2013年4-9月期 セグメント別売上高	売上高 (百万円)	売上伸長率 (%)		構成比 (%)
		数量	金額	
虚血性心疾患関連(PCI)	9,148	+5.8	+7.5	41.2
心臓律動管理関連(CRS)	3,968	+18.7	+22.6	17.9
心臓血管外科関連(CVS)	2,255	+12.6	+11.6	10.1
末梢血管疾患関連(PPI)	1,276	+26.5	+16.4	5.7
脳外科関連	677	+24.7	+20.1	3.0
糖尿病関連(DMS)	250	-	+4.8	1.1
大型機器	1,257	-	+52.1	5.7
その他	3,397	-	+18.1	15.3
合　　計	22,230	-	+14.8	100.0

## 経皮的冠動脈形成術

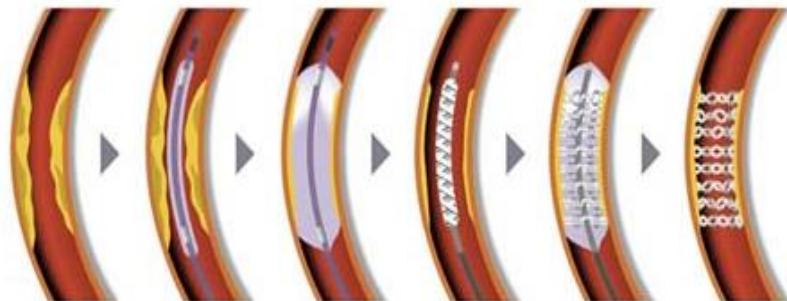
狭心症など血管が狭まり血流が悪化する疾患(虚血性心疾患)を血管内部から治療する方法

### PTCAバルーンカテーテル



狭窄(血管が狭くなること)箇所でバルーンを膨らませ、血管を広げ血流を改善させる。

### [治療イメージ]



### DES(薬剤溶出型ステント)

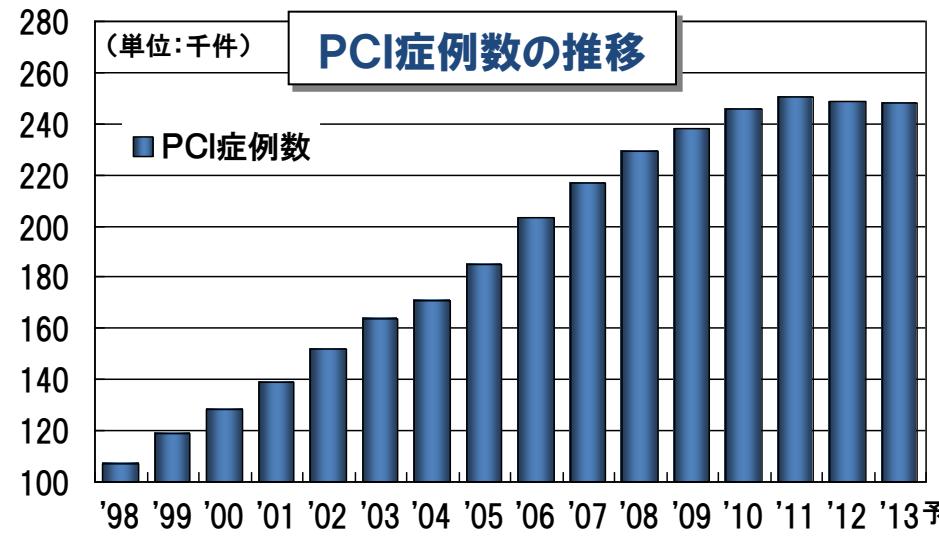


狭窄箇所で筒状の網目の金属(ステント)を留置し、再狭窄を防ぐ。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。薬は時間をかけて溶出する。

### IVUS(血管内超音波)診断カテーテル



超音波で血管内部を映像化する診断装置用カテーテル。PCIの前後に使用する。



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2013年版」

## 市場動向

- DES(薬剤溶出型ステント)の普及により、再狭窄率が減少し、市場全体の症例数は2012年に微減

## 上期の主な取り組み

- 主要顧客施設に対して増患施策の提案
- 医療連携支援を強化



医師増員やカテーテル手術室の増築等の支援により、  
当社顧客施設の症例数が増加

## ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

心筋に電気刺激を与える医療機器を体内に埋め込み、心臓に異常拍動が生じた際には電気刺激を与え、症状を抑える治療法

**ペースメーカー**



心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電気的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる

**ICD**  
(植込型除細動器)



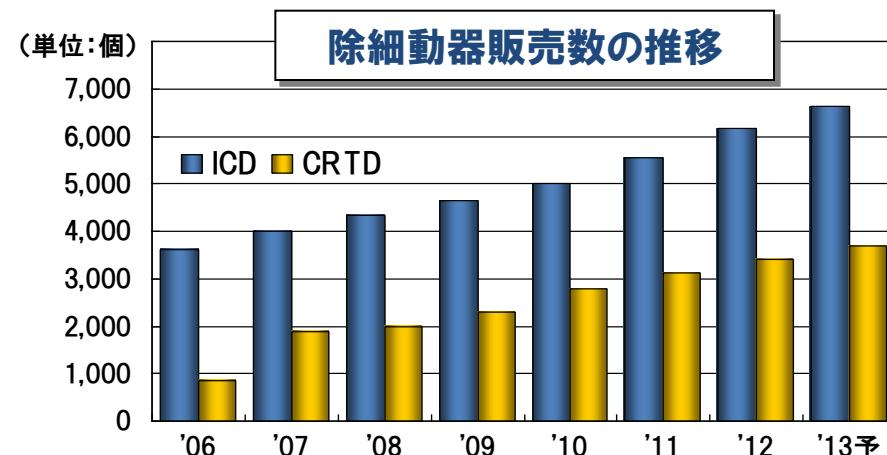
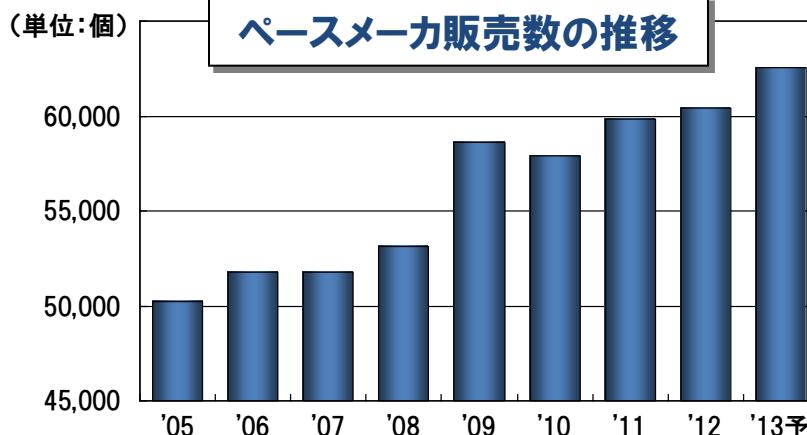
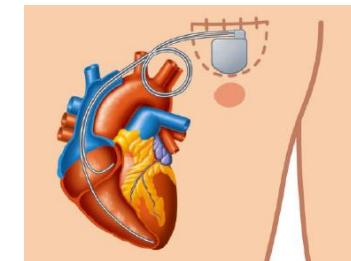
ペースメーカー機能に加えて、命に関わる症状が出た場合には、電気ショックで発作を止める機能がある

**CRTD**  
(両室ペーシング機能付き植込型除細動器)



ペースメーカー機能、ICD機能に加えて、心不全を治療する機能がある

[治療イメージ]



(出典)R & D「医療機器・用品年鑑2013年版」

## 市場動向

- MRI対応型ペースメーカーが市場を席巻
  - 2012年 10月 MRI対応型ペースメーカーが上市
  - 2013年4・8月 他メーカーより競合品が上市
- ICD、CRTD、アブレーションは診療報酬(手技料)増額等により、症例数が拡大

## 上期の主な取り組み

- 高価格のMRI対応型ペースメーカーの拡販
- 新規顧客開拓、A-fib(心房細動)治療の啓蒙活動

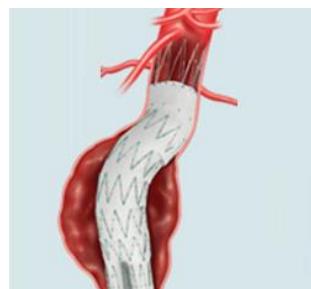


MRI対応型が、ペースメーカー売上高の40%超に拡大  
ICD、CRTD、EP・アブレーションも好調に推移

## ステントグラフト内挿術

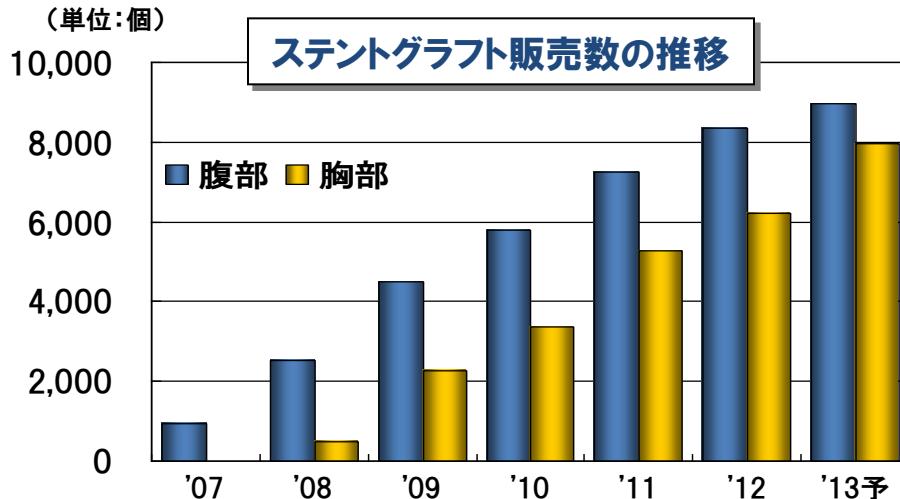
大動脈瘤(腹部や胸部大動脈が瘤のように膨らみ、破裂すると死に至る危険がある疾患)を血管内部から治療する方法。

### ステントグラフト

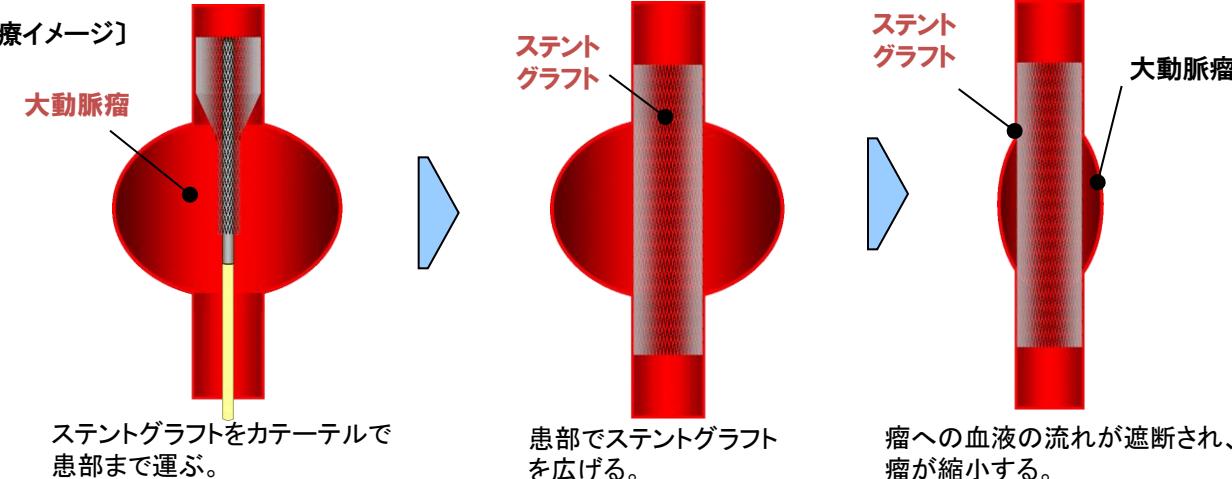


筒状の金属(ステント)がついた人工血管(=ステントグラフト)を患部で広げ、瘤内部への血流を遮断し、動脈瘤の拡大を防ぎ、破裂の危険性を低下させる。

(単位:個)



### [治療イメージ]



\* 縮小しない場合でも破裂の危険性は低下

従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では 低侵襲治療法である **ステントグラフト内挿術**が普及し始めている。

### 【参考】

米国の人工血管置換術の内訳(2006年)

外科手術:ステントグラフト手術 = 4:6

(出典)R & D「医療機器・用品年鑑2013年版」

## 市場動向

- 2007年に大動脈治療用ステントグラフトが保険適用され、普及が進む
- ステントグラフト内挿術の診療報酬(手技料)の増額等により、市場が拡大
- 心臓大血管手術数は微増

## 上期の主な取り組み

- 顧客施設に対してステントグラフト症例開始や集患施策の提案
- 新規顧客開拓を強化

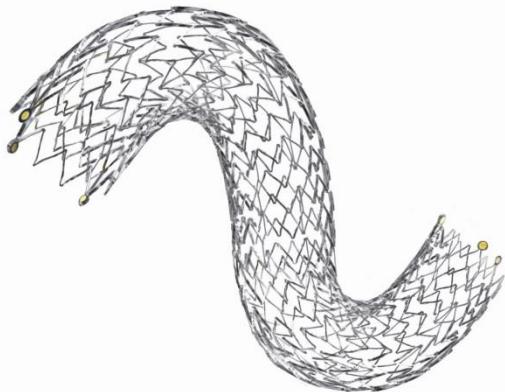


新規認定施設の増加により、症例数が増加

## 経皮的末梢血管形成術

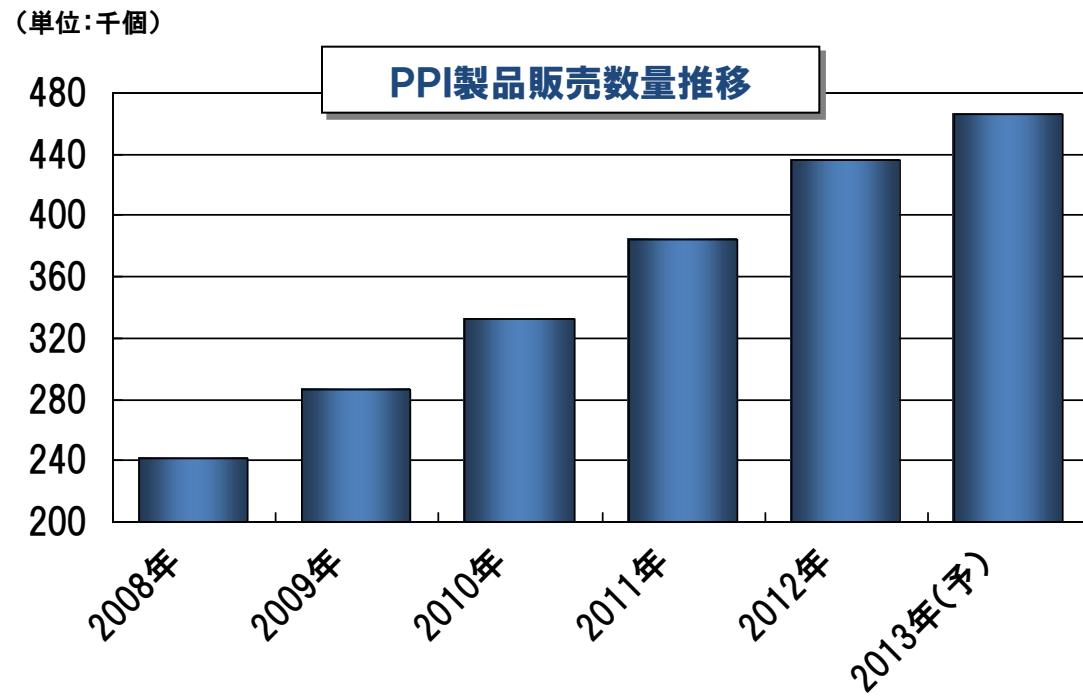
腹部動脈以下の下肢動脈や、頸動脈、腎動脈、上肢動脈などの血管が狭まり血流が悪化する疾患を血管内部から治療する方法

### 末梢血管用ステント



詰まった血管を内部から治療する筒状の網目の金属をステント、再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものを薬剤溶出型ステント(DES)という。

末梢血管用ステントとは太もも等の動脈が詰まる「末梢動脈疾患」の治療に用いられ、動きの多い下肢に使用される為、柔軟性、耐久性に優れている。



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2013年版」

## 市場動向

- 末梢血管用ステントの新製品が保険適用(適用領域の拡大)、経皮的シャント拡張術の診療報酬(手技料)新設等により、対象症例が増加
- PCIと比べ、市場規模は小さかったが、製品開発が活発化し、対象症例も増えたことから市場が拡大する見込み

## 上期の主な取り組み

- 症例開始に向けて顧客支援、新規顧客開拓を強化



循環器科から当社グループの院内シェアが拡大  
顧客施設の症例数が大幅に増加

## 画期的なインスリンポンプ療法の普及推進

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による糖尿病の治療法
- ・患者の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能
- ・欧米では普及しているが、日本国内では普及が遅れている
  - \* 現在、国内で一般的な治療法は インスリン自己注射療法

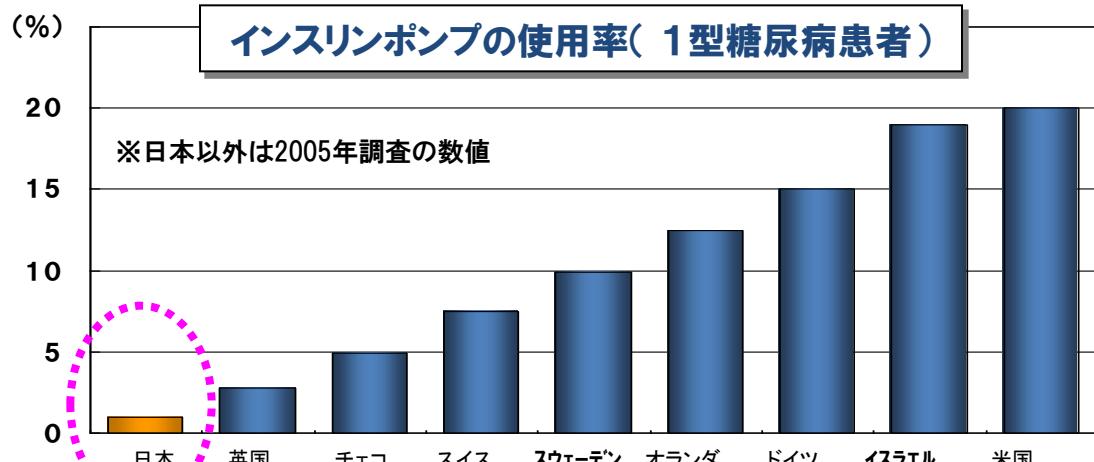


### 【糖尿病患者は2,210万人】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定（参考：「国民健康・栄養調査（平成19年）」）  
 →糖尿病が「強く疑われる人」890万人、「可能性を否定できない人」の1,320万人

**インスリンポンプ**

血糖値変動の測定データとともに  
インスリンの持続注入を行う。



(出典) Novo Nordisk Pharma Ltd. Online DITN 第386 号(2010年)により当社作成

日本のインスリンポンプ普及率は  
1 %未満と推定。

日本は欧米の2005時点の普及率と  
比べても極めて低い。

## 市場動向

- インスリンポンプの認知度が向上
- 新規参入企業により、インスリンポンプ市場が更に拡大する見通し

## 上期の主な取り組み

- 新規顧客を積極的に開拓
- インスリンポンプ療法の啓蒙活動強化
- 糖尿病による合併症(循環器疾患)に対するサポート強化



インスリンポンプのレンタル台数、売上高は約30%増  
その他関連製品の減収によりDMSセグメントでは小幅增收

# 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)	(参考)2013年3月末 ワイン・インターナショナル		2013年9月末		(単位:百万円、%)	(参考)2013年3月末 ワイン・インターナショナル		2013年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
<b>流動資産</b>	16,062	87.2	<b>19,661</b>	<b>87.8</b>	<b>流動負債</b>	10,274	55.8	<b>11,605</b>	<b>51.8</b>
現金・預金	4,611	25.1	<b>6,928</b>	<b>31.0</b>	仕入債務	9,568	52.0	<b>10,742</b>	<b>48.0</b>
売上債権	10,043	54.6	<b>10,942</b>	<b>48.9</b>	未払法人税等	388	2.1	<b>422</b>	<b>1.9</b>
商品	1,027	5.6	<b>1,402</b>	<b>6.3</b>	その他流動負債	317	1.7	<b>441</b>	<b>2.0</b>
その他流動資産	379	2.1	<b>387</b>	<b>1.7</b>	<b>固定負債</b>	215	1.2	<b>353</b>	<b>1.6</b>
<b>固定資産</b>	2,347	12.8	<b>2,723</b>	<b>12.2</b>	退職給付引当金	212	1.2	<b>351</b>	<b>1.6</b>
有形固定資産	1,172	6.4	<b>1,774</b>	<b>7.9</b>	その他固定負債	1	0.0	<b>2</b>	<b>0.0</b>
無形固定資産	299	1.2	<b>282</b>	<b>1.3</b>	<b>負債合計</b>	10,489	57.0	<b>11,959</b>	<b>53.4</b>
投資その他資産	946	5.1	<b>666</b>	<b>3.0</b>	<b>純資産合計</b>	7,920	43.0	<b>10,425</b>	<b>46.6</b>
<b>資産合計</b>	18,409	100.0	<b>22,384</b>	<b>100.0</b>	<b>負債・純資産合計</b>	18,409	100.0	<b>22,384</b>	<b>100.0</b>

経営統合後も無借金経営

### **3. 2014年3月期 業績予想**

---

# 2014年3月期 通期予想

	2014年3月期（予想）		2013年3月期 参考値：2社合算 (百万円)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	45,580	100.0	42,346
営業利益	2,280	5.0	2,047
経常利益	2,288	5.0	—
当期純利益	1,597	3.5	—
1株当たり純利益(円)	111.26	—	—
1株当たり配当金(円)	32	—	—

通期予想は期初計画通り

- 売上高 +7.6% (2社合算 前期比)
  - 償還価格の改定なく、症例数増加による販売数量拡大
  - 院内シェアの拡大
    - CRS、CVSの売上拡大
    - 心臓以外の治療領域の拡大
- 営業利益 +11.4% (2社合算 前期比)
  - 販売数量増や一括買い取りによる仕入コストの低減
  - 高付加価値製品の売上拡大による粗利益率の改善
- 当期純利益
  - 特別利益377百万円、特別損失85百万円を見込む
    - 設備投資 12億円 (テスコ本社、北関東営業所移転等)
    - 減価償却費 2億円

業績、経営基盤の強化および将来の事業展開等を  
総合的に勘案しながら、安定配当の継続、  
配当性向30%以上を目指します

2014年3月期 配当金予想

期末 32円

配当性向 32%  
(特別利益を除く実質EPS 99円に基づく)

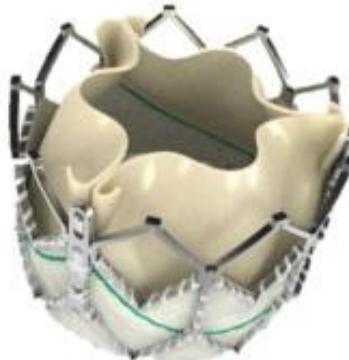
## TAVI（経カテーテル大動脈弁植込術）が 本年10月より保険適用

### 従来の心臓外科手術に代わる低侵襲カテーテル治療

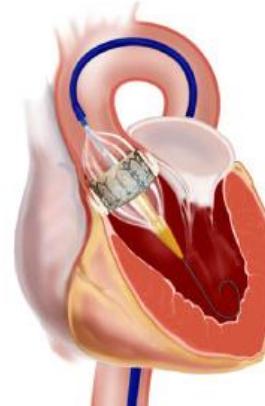
虚血性心疾患とならび最近増えてきている心疾患の1つに、「大動脈弁狭窄症」という弁膜症がある。一般的な開胸手術はリスクが低いものの、胸を大きく開くという外科的処置のため患者の負担が大きく、患者の状態によってはこの開胸手術を受けられないケースも少なくない。そうした患者にも根治の道を開く治療法が、「経カテーテル大動脈弁植込術」である。

バルーン拡張型人工心臓弁システム (公定価格 ¥4,530,000)

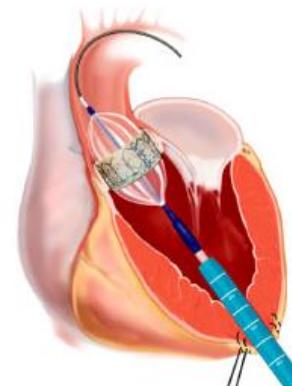
植え込む人工弁



足の血管からの治療



胸壁からの治療



TAVIの手技には、内科と外科的要素が必須



医療現場では  
診療科の領域を越えたハートチーム結成の動き



ハイブリッド手術室の需要

当社はハード面、ソフト面でもハイブリッド化を支援  
(2013年5月 ウイン・インターナショナル 一級建築士事務所登録)

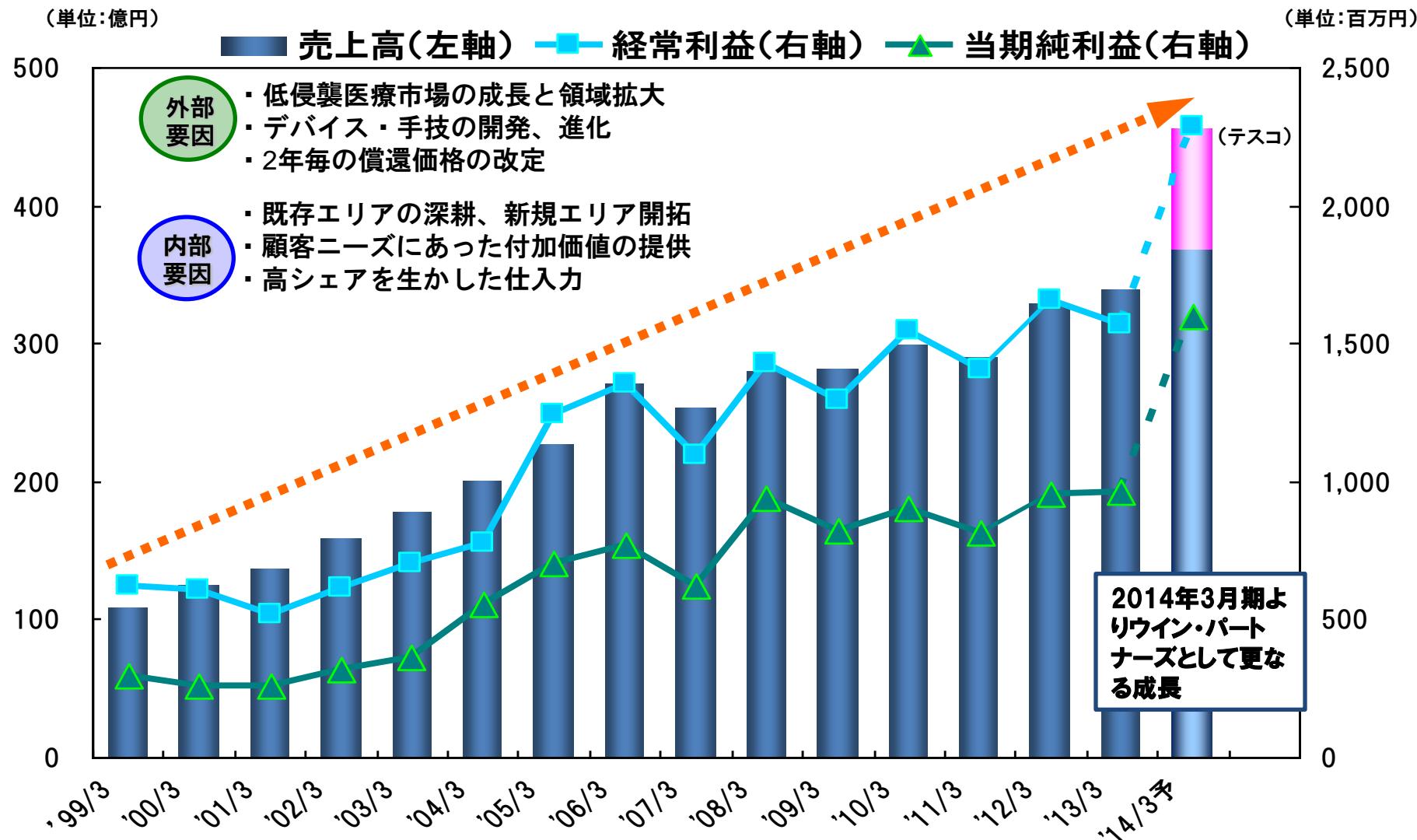
# ハイブリッド手術室



# ハイブリッド手術室



# 業績の推移



(注) 1999年3月期～2013年3月期はワイン・インターナショナル業績  
2014年3月期はワイン・パートナーズ業績(連結)

# **WIN A BETTER QUALITY OF LIFE**

## **すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ**

この資料は投資家の参考に資するため、ワイン・パートナーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2013年11月25日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

### **本資料に関するお問合せ先**



**ワイン・パートナーズ株式会社  
社長室 IR**

**TEL: 03-6895-1234 FAX: 03-5688-0891  
HP: <http://www.win-partners.co.jp>**